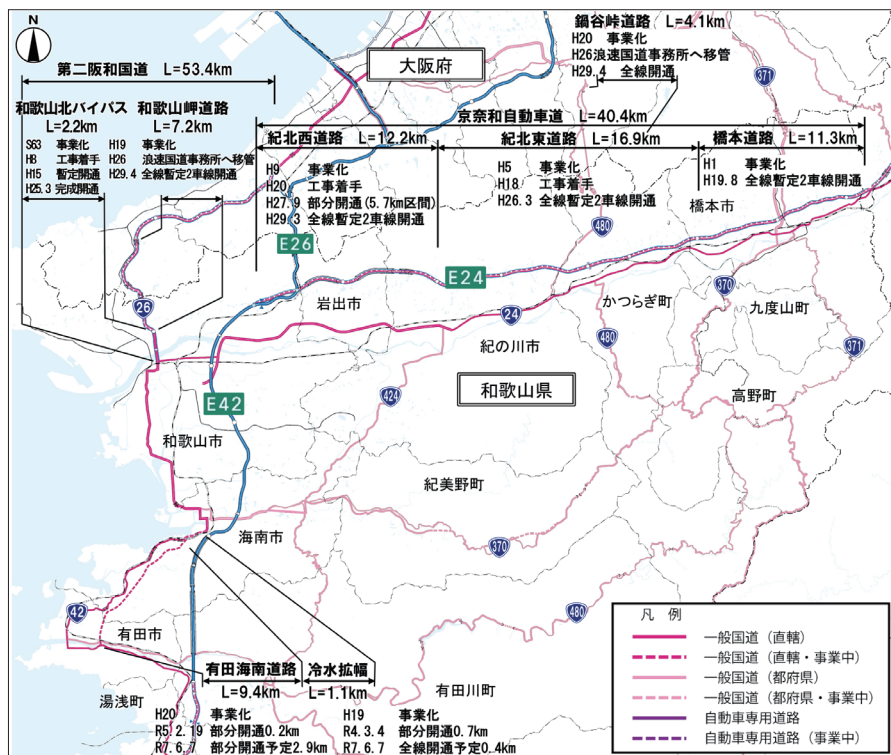


和歌山河川国道事務所の道路事業概要について

国土交通省 近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所長 小林 侑



和歌山河川国道事務所管内における近年の道路改築事業



野から同県海南市冷水（しみず）までの延長 9.4 km（2 車線）のバイパス事業です。本バイパス事業は、現道の国道 42 号において発生している朝夕の通勤時間帯の交通混雑の緩和（主要渋滞箇所 6 カ所）、追突など県内平均を上回る死傷事故率の軽減、高さ 3.8m を超える車両の通行が困難なトンネル（5 カ所）の通行車両制限区間の解除、南海トラフの巨大地震の発生時の津波浸水地域を回避し災害時の避難路となるとともに緊急輸送道路としてのネットワークの形成などを目的とする道路です。令和 5 年 2 月 19 日に起点側の有田川に架かる橋梁区間の 0.2 km、令和 7 年 6 月 7 日に終点側の梅田冷水トンネル区間を含む 2.9 km を部分共用しており、現在は、調査設計、改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を進めています。また、BIM/CIM 活用を

和歌山河川国道事務所は、世界遺産に登録された高野山や高野参詣道、城跡として国の史跡に指定されている徳川御三家の一つ紀州藩紀州徳川家の居城である和歌山城、全国的に有名な有田みかんなど豊かな自然や文化、農作物に恵まれた紀北、紀中地域において、日本最多雨地域の大台ヶ原に源を発し紀伊水道に流れる紀の川と紀北・紀中地域の人、モノ、文化の交流を支える直轄国道の整備や保全を通して安全・安心の確保、活力のある地域づくりに努めている。

【道路改築事業】 （有田海南道路）

国道 42 号有田海南道路は、平成 20 年度に事業化し、和歌山県有田市



メタバース空間を用いた広報事業の実施



(有田海南道路)【起点側】小南地区

推進しており事業のイメージ動画の作成やゲームエンジンを用いてメタバース空間を実現しイベント等で参加者にゲーム感覚で体験して頂くなど事業の広報を実施しています。

【冷水拡幅事業】

国道42号冷水拡幅は、平成19年度に事業化し、和歌山県海南市冷水から海南市藤白（ふじしろ）に至る延長1.1km（4車線）の現道拡幅事業です。本拡幅事業は、阪和自動車道海南ICとの合流区間において4車線から2車線へ車線数が減少していることから発生している交通混雑の緩和、交通事故の減少を図ると共に、有田及び海南生活圏の連携強化、地域の活性化を目的とする道路です。令和4年3月4日に終点側の0.7km、令和7年6月7日に国道42号有田海南道路に接続する起点側の0.4kmをそれぞれ供用して全線開通済みとなりました。

【道路管理】

国道24号（橋本市隅田町真土から和歌山市小松原通1丁目）、京奈和自動車道（橋本市隅田町真土から

和歌山市弘西）、国道26号（泉南郡岬町孝子から和歌山市小松原通1丁目）、国道42号（日高郡日高町荊木から和歌山市小松原通1丁目）及び有田海南道路の一部区間（3.1km）の延長約158.1kmについて維持管理を行うとともに、橋梁等の道路構造物の長寿命化、老朽化対策に取り組んでいます。また安全・快適な歩行者空間の確保に向けた歩道整備や交通事故の削減を目的とした交差点改良等の交通安全事業、災害時の緊急輸送路の確保や良好な景観の形成

を目的とした電線共同溝事業、更には太陽光パネルの設置やトンネル照明のLED化による脱炭素社会の実現に向けたグリーントランスフォーメーション（GX）を実施しています。

【おわりに】

今後とも地域・地元の皆様と連携を図り地域の課題を的確に把握し迅速に対応することで皆様の期待に応え、地域活動を支える道路の管理、地域の将来に向けた道路ネットワークの整備を着実に取り組んで参ります。



(冷水拡幅・有田海南道路)【終点側】冷水地区